

日本共産党のえんど久子市議が要求

# 子どもの医療費無料化充実を

3月16日の一般質問で、猿渡（えんど）久子市議は、子どもの医療費無料制度の充実を求めました。日本共産党はこれまでも一貫して充実のために、みなさんと一緒にがんばってきました。

## 県の制度の充実が決まる

3月の県議会で中学1月からの実施で、1日卒業までの入院の医療費500円（1ヶ月14日まで）の自己負担をこの制度は、今年10月ともないます

## 別府市でも無料をひろげよう

えんど久子市議は、「き」と質問し、試算を「少なくとも県の制度を活用して中学卒業までの入院の医療費助成を自己負担なしで行なうべき。別府市よりもすんだ自治体が県内に6ヶ所ある。別府市でも、現在就学前まで実施している通院の無料化をさらに広げるべ



ハナネコノメソウ

## 実現のための予算は？

1日500円の自己負担を別府市が負担し、別府市の財政負担がどのくらい増えるか、試算をしてもらいました。中3までの入院を無料にした場合約840万円、中3までの入院と小3までの通院を無料にした場合約688万円、中3までの入院と小6までの通院を無料にした場合約1億2994万円、中3までの入院・通院を無料にした場合約1億9412万円増える見込み、との答弁です。

## 豊後大野市は中3まで無料

豊後大野市は、中学校卒業まで入院時の食事代も含め自己負担なしで実施しています。日田市は小学校卒業まで通院も含めて無料化を実施。日田市は1回500円の自己負担あり。佐伯市は小学校3年生まで完全無料で実施。これらの市は、市長が選挙で公約し、実施に踏みきました。えんど市議は「別府市でも中3までの入院の助成だけでなく、入院もさらに拡充すべきと考えるがどうか。他市のように努力すべきだ」と質問。担当課長は「4月に県との協議があり、その協議を踏まえて議会に諮りたい」と答弁しました。世論をひろげ実現させましょう。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団

# げんきニュース

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

## No.424

2010.4.13.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630  
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

日本共産党は反対

# すすむ別府の海岸整備

300億弱をつぎ込み  
人口の砂浜など

別府の海岸整備がすすんでいきます。日本共産党議員団はこの事業に反対してきました。

民主党は国直轄事業にたいする地方の負担金は廃止すると昨年の総選挙で公約していたにもかかわらず、廃止されていません。

新年度予算には、5500万円の国直轄事業負担金が計上されています。これは沖防波堤を整備するもので、総額約81億円と報道されています。



海岸整備の看板 人口の砂浜や緑地帯などを作る



観光港北側に多目的広場を整備中

また、観光港の北側に市の単費で総額2億8000万円をかけて多目的の広場を作る工事が進んでいます。

さらに、緑地事業などの県の事業は餅ヶ浜・石垣・北浜の3ヶ所の合計で総額21億3000万円あまりをつぎ込むというもので別府市も一部負担します。

これらの事業以外に、国と県の事業として総額162億の高潮対策事業もあり、すべてをトータルすると300億近くにものぼる巨額の事業です。(別府市の年間予算は約400億) 防災は必要ですが、もっと予算を抑えた工法が可能です。



北浜の海岸 高潮対策の工事

市民の暮らしや  
身近な事業を優先に

市内業者の仕事の確保という面でも、このような大型公共事業をすすめるべきではないでしょうか。

国や県の事業も国民の血税です。財政が厳しさを増し、市民要求が山積するなかで、いま優先すべき事業だとは言えない、というのが反対理由です。